

# 広報で振り返る 朝倉市の 10 年



朝倉市誕生 (2006 年)



三連水車の里あさくら  
オープン (2007 年)



團伊玖磨記念「筑後川」  
in 朝倉を開催 (2008 年)



秋月黒田鎧揃え (鎧初) が  
60 年ぶりに復活 (2009 年)



第 2 代朝倉市長森田俊介就  
任 (2010 年)



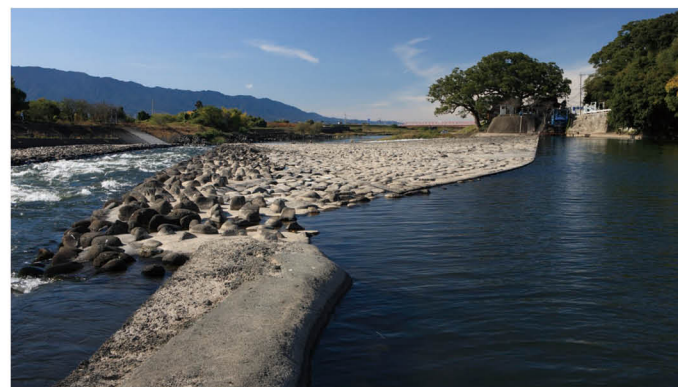
片男波部屋が朝倉農業高校跡地  
に部屋を開設 (2011 年)



甘木地域センター (フレアス甘木)  
オープン (2012 年)



第 1 回百人一首朝倉大会開  
催 (2013 年)



山田堰・水車群等が  
世界かんがい施設遺産登録 (2014 年)

写真提供 安岡義之氏



第 10 回朝倉市民祭り あさくらにぎわっ祭  
～卑弥呼の恵み～開催 (2015 年)

# ASAKURA CITY 10th ANNIVERSARY

## ～市民憲章～

私たちの朝倉市は、恵まれた自然と悠久の歴史に抱かれています。このまちがより一層輝きを放つために、一人ひとりが自覚を持ち、身近にあるたくさんの素晴らしいものに気づき、これを活かしながら、新たな未来を拓いていくことを願いつつ、郷土への愛をこめてこの憲章を定めます。

1. 水と緑を守り、文化と歴史に学びながら、魅力ある新しいまちをつくります。
1. 平和を愛し、人権を尊び、かけがえのない命を大切にするまちをつくります。
1. 仕事に励み、健康に心がけ、生きがいと安らぎに満ちたまちをつくります。
1. 自ら学び模範となり、子どもたちの健やかな心と夢を育むまちをつくります。
1. 共に支え助け合い、地域一丸となって、安全・安心なまちをつくります。

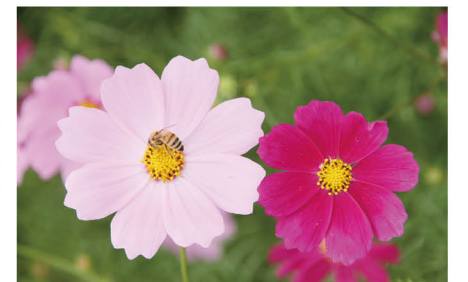
## ～朝倉市の花～



ヒマワリ



サクラ



コスモス

それぞれが市民に親しまれる身近な存在であり、市内の公園や堤防沿い、街路などに多く見受けられます。満開の季節になると、市外からも多くの観光客が訪れる朝倉市を代表する花です。

## ～朝倉市の木～



クス



イチヨウ



ツゲ

クス…天然記念物として指定されている多くの「クス」があるほか、学校など市民生活の身近な場所にも見受けられる、市民に親しまれる存在です。由来や言い伝えを持つものも多数あり、その木蔭がもたらすイメージは、朝倉市の安らぎです。

イチヨウ…境内など市民生活の身近な場所にも見受けられる、市民に親しまれる存在です。鮮やかに色づく葉や実がもたらすイメージは、朝倉市の実りと繁栄です。

ツゲ…朝倉市北部の古処山に自生しているツゲ原始林は、国の特別天然記念物・県の天然記念物に指定されており、朝倉市が誇る財産です。積み重ねられた歴史と濃緑の葉がもたらすイメージは、朝倉市に水と自然の大切さを伝えます。

様々な年齢・職業の市民8人にインタビューし、それぞれの10年やこれからの対する思いをお聞きしました。

朝倉市三奈木在住 ステップリーダー 74歳

上村 昌子 さん

いくつになっても挑戦し続けたい



三奈木コミュニティセンターで、月に4回開催しているステップ運動教室のリーダーを務めています。きっかけは自分からではないのですが、行ってみたら楽しいし、健康にも良くて続けています。参加者は50歳代～70歳代くらいで、みんなで楽しみながらステップ運動をしています。合併前までは、杷木・朝倉の方たちと関わることはありませんでしたが、合併して、ステップ運動を通してほかの地域の方たちとも仲良くなれました。

私はもともと朝倉市の出身ではなく、夫の実家が三奈木だったことがきっかけで、約30年前に引っ越してきました。車が必須で、不便を感じることもありますが、ご近所の皆さんも良い人ばかりだし、空気が綺麗で、住みやすいところです。

コミュニティセンターを拠点にしたパソコン教室や、竹細工教室など、ほかにも色々な活動に参加しています。パソコンは、こういう田舎に住んでいるからこそ使った方がいいということで、地域の方がボランティアで教室を開いてくださっています。インターネットショッピングも、年をとって大きいものや重たいものを持ってなくなった今こそ、使えると便利です。実際に自分ひとりで購入するまでには至っていませんが、離れて暮らす娘に注文してもらって私の自宅に配送してもらうなど、自分に合ったやり方で利用しています。

ここの地域は、できる人がやるという雰囲気があり、そんなところも魅力のひとつです。お年寄りと言っても、皆さんとってもお元気です。こういう精神が市全体に広がっていけばいいですね。

いくつになっても失敗を恐れずに新しいことにチャレンジし、積極的に活動していきたいです。これからの元気な地域づくりには、元気なお年寄りの活躍が欠かせないのではないかなと感じています。

朝倉市杷木志波在住 今年成人式を迎えた20歳

武内 綾香 さん

やっぱり自然が1番魅力的です



私が思う朝倉市のいいところは、ありきたりだけど、自然が豊かなところ。小さいころからここでのびのびと暮らしてきて、大人になった今思うことは、育った場所の違いは考え方などに大きく影響しているということです。田舎で育った人はなんとなくのんびりしてて落ち着いていて、いいなと思います。

私の朝倉市のおすすめスポットは大手山公園。中学生のときは部活でよく登りました。今は夜に星を見に行くのが好きです。春は夕月神社、夏はバサロのひまわり、秋は山の紅葉がきれいです。福岡に住む友達が、朝倉市の写真とかをSNSにアップしてることもあったので嬉しかったですね。自分がどこかに遊びに行くときは、食べ物のおいしいところとか、きれいな川とかを目的に行くことが多いので、もっと人を呼び込むためにも、朝倉市もそういうのをアピールできたらいいのかなと思います。おしゃれなカフェやお店が増えれば、特に若い人や女性が遊びにくると思います。

合併したとき私は10歳で、合併したといわれてもピンと来なくて、市のマークが変わったな～と思ったくらいでした。実際、旧甘木市、旧朝倉町のことでよく知らないし、あまり知る機会がなかったように思います。地元という感覚もあまりないのが本音です。小学生のときから、市内の自分の住んでる地域以外の歴史について勉強するとか、小学校同士が集まるようなイベントがあると、もっと市のことを深く知る機会になるかもしれないし、一体感が生まれるのではないかなと思います。

20年間ずっと朝倉市に住んでいるけど、朝倉市はいいところだ、ということは胸を張って言えます。自分の将来のことについてはまだ考え中です。さらに色々な年代の人にとって住みやすい市となるよう、仕事や住むところの選択肢がもっと増えればいいと思っています。

今回は第2弾で4人の皆さんを掲載します。第1弾は3月15日号に掲載しています。

市内で自営業を営み、4人のお子さんと暮らす

宝来 俊一 さん

地域に密着して働く楽しさ



私は高校を卒業して3年間福岡市のIT企業で働き、元々父が文具事務用品店を経営していたので、そこにコピー機やパソコン関係の事業を取り入れようと思い、甘木に戻ってきました。私は生まれも育ちも甘木。この仕事の醍醐味は地域に密着して、地域に根付いて働くことができることです。人情味、田舎でしか味わえない温かみ、お金に変えられない人と人のご縁、そういったところに価値があると感じています。合併前までは「甘木市」「朝倉町」「杷木町」と目に見えない境界線がありました。今は杷木や朝倉の方たちともお付き合いがあり、3市町がひとつになったことによって、仕事のエリアやお得意様が増えました。仕事をしている人としては、合併して可能性が広がったと思います。

私は4人の子どもがいますが、子育てと企業誘致・雇用の確保は繋がっていると思っています。しかし、働いている、若い世代の人たちがこちらに戻ってくるというのはなかなか難しいのではと思っています。雇用の有無は、人の定住に大きく関係しているからです。子育て世帯への支援をはじめ、企業の存続や雇用の支援につながるような政策があればいいと思います。地域の事業所や会社が育つこと、これが今後の朝倉市繁栄のカギになるのでは、と感じます。

住むところも自由に選べる中、ここを選んだ理由は、自分が生まれ育った住み慣れた町で子育てがしたいと思ったからです。自然も多いし、スーパーなどの生活に必要なお店は揃っています。それぞれの個性を生かしてのびのびと育つにはやっぱり自然に囲まれた生活というのは欠かせません。自然の中にいろんな風景を見たときにここでよかった、と思える、そんな生活、子育てがここではできます。

朝倉市商工会副会長・生活雑貨いちき

一木 保宏 さん

更なる飛躍の未来に向かって



朝倉市誕生10周年を迎え、更なる飛躍の未来に向かってなにをなすべきか、を考えてみました。合併後も過疎化と高齢化の進行が止まりません。特に周辺部の疲弊は目を覆うばかりです。私が杷木旧市街に住み、小売業を営んでいる実感です。

地域づくりには「親と子と孫と一緒に暮らせる」社会の実現が欠かせません。この地域は昔から農林業で稼いでお金を回してきました。これらを再生させ、雇用と暮らしの創設ができないものかと考えています。豊かな一次産業があってこそ商工業の繁栄があります。

これからはコミュニティの役割も重要になってきます。地域の盛り上がりは非常に大切なことですが、イベント中心ではなく、空き家対策、子育て支援、高齢者見守り、地域産業の創設など、課題の解決に取り組むことが今後求められてますし、実際にその方向に舵を切っている組織もあると思います。少子高齢化、過疎化、買い物難民などの問題もあり、どうしたらそこで元気に暮らしていけるかを考えるのが今後の課題だと思っています。人口減少社会の対処は高齢者（特に団塊世代）と働く女性の活躍がキーワードになりそうです。

朝倉市には歴史や文化、観光資源が豊富にあります。しかし、これらを上手く情報発信できていないように思います。都市との交流や定住促進も含め、強化していくべきことの1つです。幸いにも人材はそろっているので、どこかに風穴を開ければ、意外とスムーズに行くのではないのでしょうか。

合併して良いとか悪いとか色々あるけれど、一人ひとりの顔が違うように、地域ごとの特徴は個性だと思っています。個性を生かしつつ、全体の調和を図るようなことをしていく必要があると感じています。